

# みんなで ともに 乗り越えよう

浪江町を復興していくためには、町民の生活再建・健康管理、インフラの復旧、将来に向けたまちづくり、賠償問題、絆の維持など多くの課題があります。

その中で、町がどのような取組をしているのかをお知らせします。

## 災害時における支援協力に関する協定を締結しました



協定書を手に固い握手

5月21日、浪江町とイオンリテール株式会社は、「災害時における支援協力に関する協定」を締結しました。

引き続き、災害に強い町を目指し、災害に備える取組を行っていきます。

### 【主な支援内容】

- 食料、飲料水、生活物資などの調達
- イオンリテール株式会社の店舗において、被災者に対する水道水、トイレなどの提供
- イオンリテール株式会社の店舗において、被災者に対する災害情報の提供

問 総務課防災安全係 TEL 0240(34)0229

## スポーツ推進委員を委嘱しました

5月14日、スポーツ推進委員委嘱式を地域スポーツセンターで行いました。

新たに委嘱された2人を加えた計7人のスポーツ推進委員は、令和2年3月31日の任期満了まで、町民の交流や健康管理、体力維持・向上などを目的としたスポーツ行事や体力検査などの企画立案・実施に向けた活動を行います。

### ■浪江町スポーツ推進委員（順不同、敬称略）

川崎 豊、瀧 幹一、中野 豊子、  
大浦 浩美、山田 司、末永 一之、  
松崎 光平



スポーツ推進のために

問 浪江町地域スポーツセンター TEL 0240(34)3941

# 町の農林水産業 再生に向けて

問 農林水産課農政係 0240(34)0245  
問 農林水産課農林水産係 0240(34)0246

## 藤橋地区で田植えが行われました

5月11日、藤橋地区で田植えが行われました。震災後初



秋の収穫を心待ちにする地元農家の方々

また今年度は、農業の早期再生に向けて、平成30年3月20日に「農業に関する包括連携協定」を締結した株式会社舞台ファーム（宮城県仙台市）が、同地区で水稲の作付に取り組んでいます。地元農家の方々に、追肥のタイミングをアドバイスしたり、ドローンを

めての水稲の作付が昨年度行われ、今年度は、作付面積をさらに拡大して水稲の栽培を行います。田植えは、昨年設立した生産組合に加入している地元農家の方々を中心に行われました。参加者からは、昨年よりも稲が馴染みやすく、良好な生育が見込まれるとの感想も出ており、今年の稲の収穫に期待を寄せて田植えに臨んでいました。

## タマネギセミナーに参加しました

5月29日、相双地方タマネギセミナーが富岡町で開催され、浪江町の農業関係者をはじめ、多くのタマネギ生産者が参加し、品種や育成方法についての講義などが行われました。

使った薬剤散布を行ったりするなど、これから営農再開を目指す農家にとって、参考となる取組が行われています。



真剣に聞き入る農業関係者の皆さん

## 農業委員会だより \*第22回\* 農地を転用するときにご相談ください

農地を農地以外の目的に利用することを「農地転用」といいます。農地転用は、農地区分によっては認められない場合があります。転用を希望する農地がどの区分にあたるかは、農業委員会事務局にご相談ください。

農地区分		許可の方針
農用地 区域内農地	町が定める農業振興地域整備計画において農用地区域と設定された区域内の農地	原則不許可
第1種農地	良好な営農条件を備えている農地（10ヘクタール以上の集団農地、農業公共投資対象農地など）	原則不許可
第2種農地	市街化が見込まれる区域内にある農地や、農業公共投資の対象となっていない小集団の生産力の低い農地	周辺の他の土地では目的が達成できない場合などは許可
第3種農地	市街地の区域内または市街化の傾向が著しい区域内にある農地	原則許可

8月の申請締切日は1日(木)です。

問 農業委員会事務局（農林水産課内） 0240(23)5706

及所」の指導の下、タマネギの新たな産地づくりを進めています。昨年からは浪江町においても、地域の生産組合を中

心に耕作面積を徐々に増やし、今後とも知識の底上げや技術の向上を図り、さらなる産地拡大を目指します。